

國勞働婦人部マークを別に圖案作成した。(六月より)

(七) 法律部

- 一、栃木事件及び洋モス争議の公判(六月及び七月)に關係辯護士を中心として活動す。
- 二、函館地方勞働組合協議會暴壓に關して、内相に抗議す(六月六日)
- 三、其他争議組織の中に織り込まれた活動。

(八) 調査部

第三回中央委員會に於いて夏期勞働調査をなすことを決定したが、大會後に延期した。

(九) 國際部

一、第十四回國際勞働代表選出問題

組合會議第三回執行委員會及、評議員會に於いて、論議され、代表に總聯合坂本、顧問に官業阪口、製鐵今岡(途中急逝され高山隨員補任)の諸氏が決定された。全國勞働としては、組合會議の今日の情勢より觀て、從來その政治行動に兎角批判のあつた如き人物を候補者として推薦するに異議を唱へたが、執行委員會及書記局に於いて討議の結果、河上丈太郎、阪本孝三郎の兩氏を候補として推薦して來たので、全勞

は河上氏の推薦を辞退した。

二、日印通商問題——に關して、勞働階級の立場から解決の必要ありとし左の要請書を發表、同時に官廳及び大阪の商業會議所、關係資本家團體に要請した。

要 請

△主 文

全國勞働組合同盟中央委員會(昭和八年七月二十六、廿七日開催)は日印問題に關し左の要求を決議す

- 一、シムラ會議に勞働者代表を参加せしむること。
- 二、紡績勞働者の賃銀値上その他勞働條件の改善を即時實施すること。
- 三、勞働組合を公認する事。

△理 由

世界的な經濟的武裝抗争、金の彈丸、銀の船を以つてする世界プロツク經濟の對立は、ロンドン經濟會議の失敗を機會に愈々強烈ならんとしつゝある。日印通商條約破棄の問題は世界經濟會議開催前よりの懸案なるも日印の關係は自來傾に悪化し、我が紡績業者の印棉不買決議となり印度議會の七割五分報復關稅の通過となりて現れ兩者の經濟的抗争は頗る尖鋭となつた。日印通商條約の破棄問題は英國商相ランシマンの提唱に依つて兩國當業者會合一調ゆるシムラ會議となつて成形しつゝあるも日英紡績業者の利害對立、兩者の行懸りなどよりすれば具體的の効果を擧ぐる事は困難なりと推せらる。しかも、日英紡績業者の印度市場を巡つての抗争は單に資本家階級間の對立抗争に止らず、關稅障礙に依つて英本國より擷取せられる